

戸塚 哲夫 議員

交差点での交通安全対策を

問 交差点での交通事故抑止に期待ができる信号機のない円形交差点「ラウンドアバウト」を検討したらどうか。

答 事故の多い、下山梨地内のJA遠州中央袋井営農経済センター東交差点を対象に本格導入に向け検討したい。

住宅用火災警報器の普及を

問 設置について自治会、消防団等の協力を得て、地域を挙げて取り組むべきでは。

答 消防署と消防団女性消防隊が協力し、高齢者単身世帯の防火訪問の際、設置の確認や働きかけを行っている。今後は、消防に関する各種イベントや広報等をはじめ、自主防災隊長会議等において、改めて設置を呼びかけ普及促進をしていきたい。

大石 重樹 議員

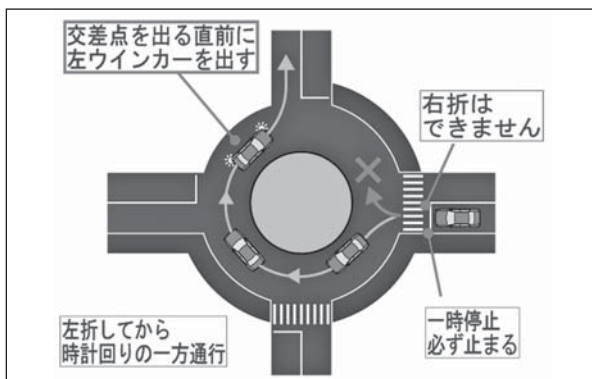
地域の防災対策は

問 防潮堤嵩上げ整備の募金活動はいつどのように行うか、またふるさと納税メニューの中にも入れたらどうか。

答 寄付金募集の取り組みは、袋井商工会議所、浅羽商工会、自治会連合会と意見交換しながら、官民一体の組織づくりを行いたい。目標額、期間、対象事業などを決めるとともに、ふるさと納税制度のさらなる活用についても検討していきたい。

問 地域防災の要である消防団の団員確保をどうするか、活動の見直しと入団しやすいあり方を検討しているか。

答 袋井市消防団活性化検討会で協議している。早朝訓練の実施、休日の消防団行事の多さなどが課題であり団員確保が難しい。訓練や大会の削減に向けて、改善案の検討結果を本年度末までに出したい。



円形交差点「ラウンドアバウト」のイメージ図

空き家対策を推進するべき

問 空き家対策条例の制定を今後どう進めていくのか。

答 「空き家対策特別措置法案」が国会へ提出される動きがある。その動向に注視し、法案の目的や定義、市に与えられる権限、撤去する際課題となる固定資産税の軽減措置など市の条例との整合性を精査し、手続きに手戻りが無いよう制定に向け進めたい。

地域活性化対策は

問 固定資産評価の見直しは27年度に行われるが、現状を把握し実勢に見合った評価替えを求めているがどう対処するか。

答 25年度は評価替え中間年度として実勢価格を把握するため市内292地点で鑑定を行った。26年度は最終年度であり200地点の簡易鑑定評価を行い、より直近の実勢価格を評価替えに反映させたい。



消防団の非常招集演習